

## 川上宏奨学金受給研究成果報告書

研究題目: スポーツ中継で語られる「物語」———箱根駅伝中継を事例に

### 1、研究目的

本研究は、日本の正月の風物詩であり、毎年 20%以上の高視聴率を誇る箱根駅伝の人気の理由を明らかにするため「箱根駅伝中継」に注目する。そのなかでも、スポーツ中継で語られる「物語」に焦点を当て、箱根駅伝中継での「物語」が箱根駅伝にどのような影響を与えているのかという問いを立てた。これを明らかにするために、第 101 回箱根駅伝中継内で語られる「物語」の言説分析を行った。

### 2、研究方法

まず、先行研究を基に「物語」を定義したうえで、マスメディアが伝える「物語」と「スポーツ」の関係を明らかにした。そのうえで、第 101 回箱根駅伝中継を全編視聴し、スポーツ中継に存在する「勝負の物語」、「共同体の物語」の枠組みに該当する個所を抽出して分析した。分析の方法としては、物語の主人公となる人物についての発言の及んでいる場面を抽出し、場面ごとに時刻、映像に映る選手の走っている地点、その時のレース展開と映像の内容を記載する。そして、「物語」を語る実況のアナウンサーや解説者の発話を文字起こしすることで言説分析を行い、箱根駅伝で語られる「物語」を明らかにした。

### 3、研究結果・考察

はじめに箱根駅伝中継での「物語」の分析を行うにあたり、「物語」とマスメディアの伝える「物語」、「スポーツ」について整理した。本稿では、先行研究を基に物語とは「一定の登場人物が、時間の経過とともに起こる出来事のなかで変化していく一連の流れ」のことを指すと定義した。そして、マスメディアは出来事の理解を促進するため「物語化」し

て伝える。特にスポーツ中継では、勝敗が結末となる「勝負の物語」と選手やチームの思い、生き様を物語形式で伝える「共同体の物語」の2種類の物語が存在することが明らかになった。

次に、箱根駅伝中継内で語られた①総合優勝をかけた先頭争い、②シード権争いの2つの勝負の物語の分析を行った。勝負の物語は、「勝負の予想、現状、勝負の結果」の順に構成され、勝敗のつくスポーツには必ず存在することが分かった。さらに、箱根駅伝では優勝以外に様々決する勝負があるため、多くの勝敗の物語が語られるうえに、「大量の過去の情報」、「情報の即時性」、「プロの目線」といった中継の工夫により勝負の物語がより魅力的に語られている。

さらに、①ケガからの復活、②母の死、③異色の経歴からの出場の三つの共同体の物語を取り上げ、分析を行った。共同体の物語はマスメディアの事前取材により収集されたエピソードを物語形式で伝える。箱根駅伝は多くの選手の夢の舞台となっているため、挫折から「箱根駅伝に出走する」ことで多くの物語が完結する。単調な駅伝というスポーツを魅力的にするためにはサイドストーリーとなる共同体の物語は必要不可欠である。

以上のことから、箱根駅伝中継は「事前準備」と「物語性」により魅力的なスポーツ中継になっていることが明らかになった。放送する日本テレビは、箱根駅伝での過去の情報や出走する選手のプロフィール収集、共同体の物語の基となるエピソードを取材し、事前準備を基に「物語」として語っている。また、箱根駅伝は多くの人々の目標となっているため、箱根駅伝への思いが物語性をはらみ共同体の物語が生成される。さらに、順位やタイムといった勝負事が多々あり、数多くの勝負の物語が語られる。そのうえで、高頻度で切り替わる画面に映る選手の物語が語られるため、様々な選手の数々の物語が語られることが箱根駅伝中継の魅力であることが明らかになった。箱根駅伝中継の分析から、スポーツ中継で語られる「物語」は試合展開の理解を促進させるとともに、選手の思いや苦労を知ることにより深くスポーツ中継を楽しむことができる、スポーツ中継には必要不可欠な要素であることが分かった。

#### 4. 奨学金の主な使用用途

受給した奨学金は、主に文献費や資料のコピー代、映像提供にご協力いただいた方々への謝礼品代、交通費として用いた。

#### 5. 謝辞

本研究をおこなうにあたり奨学金を給付してくださった故川上宏先生とご家族、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。頂いた奨学金により調査を滞りなく行うことができ、より一層研究に励むことができました。ご支援いただき、誠にありがとうございました。